

## Communication Rules

(1) 英語では、人と出会い挨拶をする際に、相手の様子を尋ねる表現がよく用いられます。質問をすることで相手に対する関心を示しているのです。イントネーションに気を付けましょう。

- Hello. How are you?      ⇨ I'm fine, thank you. And you?  
Great./Good.
- Hi. How's it going?      ⇨ Great./Good./Not bad./All right.
- How are things?      ⇨ Great./Good./Not bad./All right.

ここで注意したいのが、このような質問に対しては、特に自分の体調の悪さや病気のことに関心を示してほしい場合、あるいは親しい友人と会話する場合などを除いて、上に挙げた応答例のように、**ポジティブ**な答えをするのが礼儀です。

(2) 挨拶を交した後、たとえ急いでいても、天気のような軽い共通の話題 (small talk) で会話を少し続けてから、別れるのが礼儀です。

- It's a nice day, isn't it?      ● How is school?
- How is your sister doing?
- Take care.      ● See you later.
- I have to go. Bye.      ● Have a nice [good] day.

(3) 挨拶の際に、ビデオの中の人物のように、相手の名前をつける方が、親しみが増し、好まれるようです。皆さんも挨拶の際に相手の名前をつけましょう。

- Hello, Tasha.      ● How are you, Tasha?

## Speaking Practice

(1) Role-playing: 4人で、スキットを演じてみましょう。

(2) Pair work: 隣の人と、通りで会ったと想定して、短い会話をしてみましょう。その際、できるだけ相手のファーストネームをつけてみましょう。

<Person A>

- ① Hello, .....
- ③ I'm .....
- ⑤ Yes, it (sure) is .....
- ⑦ ..... . How about you?
- ⑨ .....

<Person B>

- ② I'm ....., ..... ?
- ④ It's a ..... day, ..... ?
- ⑥ How is ..... ?
- ⑧ ..... . Oh, I have to go.
- ⑩ Bye.

- (3) Group work: 教室を動いて、5人の人と趣味や学校のことについて話しましょう。会話した人の名前と、相手の使った挨拶と別れる時の表現を下の表に書きましょう。

<Name>	<Greeting expressions>	<Parting expressions>
<i>Noël</i>	<i>How's it going?</i>	<i>I have to go.</i>



## Cultural Tips

英語では、フォーマルな場合を除き、ファーストネームやその愛称で呼び合うのが普通です。そして愛称も大抵は決まっています。例えば以下のような愛称があります。

James ⇨ Jim      Susan ⇨ Sue      Elizabeth ⇨ Beth, Liz  
 Thomas ⇨ Tom      William ⇨ Bill, Will      Robert ⇨ Bob, Rob

### Spotlight on Culture

私がエジンバラ大学に通っていたある晩のこと、急激な腹痛に苦しみ一睡もできないことがありました。とうとう我慢できず、翌日の朝大学の先生に紹介状を書いてもらい、大学付属病院にかけ込んだのです。そして早速注射を打ってもらい、ベッドに横になっていると、看護婦さんは“How are you?”と、声をかけてくれたのです。とっさに私は“I’m fine, thank you.”と深く考えもせず、社交辞令で答えたのです。するとその看護婦さんは、“No, you are not fine. You have to stay here until tomorrow.”と応答したのです。この場合の“How are you?”は社交辞令ではなく、本当の質問だったんですね。英語というのは難しいですね。皆さんでしたらどう答えますか。考えてみて下さい。